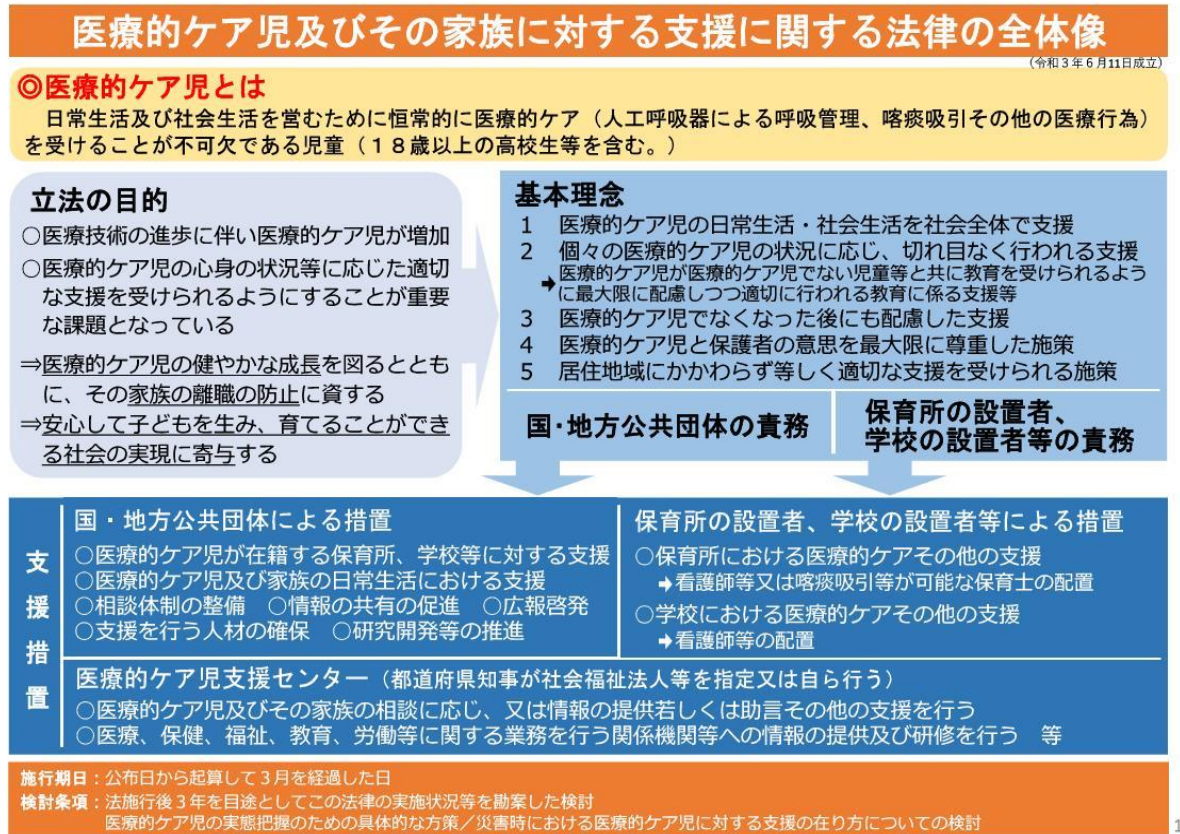


医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律について

「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」が令和3年6月18日に公布され、同年9月18日から施行されている。

【概要】



<出典：厚生労働省 社会保障審議会障害者部会 R3. 6. 21付 資料>

【要点】

- 「医療的ケア」や「医療的ケア児」が定義され、18歳以上の高校生等を含む。
- 教育に係る支援や、高校卒業後や18歳到達以降にも配慮した支援等を基本理念としている。
- これまで、障害者総合支援法で国および地方自治体の努力義務とされてきた医療的ケア児への支援が責務に変わった。

【地方自治体が負う責務】

- 保育所、認定こども園、家庭的保育事業等（家庭的保育事業、小規模保育事業、事業所内保育事業）や放課後児童健全育成事業、学校（幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校）での医療的ケア児の受け入れに向けて支援体制を拡充する。
 - ・保育所等 → 看護師等または喀痰吸引等ができる保育士の配置
 - ・学校 → 看護師等の配置
- 医療的ケア児支援センターの設置（都道府県が指定又は自ら実施できる）
相談支援や関係機関連携、研修等を行う。